

【INFORMATION】

支部情報	1
本部情報	3
支部予定	4
編集後記	4

支部情報

1) 新任者教育講座実施報告

2019年8月2日、支部主催の新任者教育講座を岡山市・ピュアリティーまきびにて開催致しました。受講者は33名でした。新任者ということで20代の参加者が7割を占め、経験年数も1年未満の方が6割を占めました。

午前中はJEMCAインストラクターの小林氏により「環境計量の仕事とは」、「労働安全衛生」及び「サンプリングの基礎」について講義を行い、午後から榎本氏により「分析化学(化学分析)」、「分析技術(機器分析)」の座学を行いました。前半は全般的な内容が多いため、比較的理解度は高かったですが、後半の分析化学、分析技術では専門的な話となり、経験年数の少ない方には、まだ実施したことのない分析や触ったことのない機器などで、少し難易度が高かったものと思われます。ただ、環境分析とは多岐に渡るものだという認識をもって頂き、今後の業務に活かしていただければ幸いです。

今回から初めての試みとして、グループワークを実施しました。どうしてもこのような講座は講師の一方的な座学が多くなります。座学も大切ですが、各事業所から参加頂いているため、普段なかなかお話しする機会が少ない参加者同士での意見交換、環境計量に関するワンポイントテクニック、考え方などを共有する場を作ってみました。

参加者を5~6名ずつ6グループに分け、グループごとに設問を設けました。1題につきグループ協議から意見の集約、全体発表を約1時間で行い、各

2題のグループワークを行いました。

設問は、例えば「機器測定において、真値より数値が高くなる要因を挙げて下さい」や「夏季の湖沼で特長的な現象を挙げて下さい」というように、分析技術に特化した内容のものから、調査全般(特にサンプリング)に係るものまで多岐にわたりました。

その後の全体発表では、グループの代表者が協議内容を発表し、それに対し、他グループの方より発表内容とは別の見方や参考となる意見、また、インストラクター並びに主催者からの経験談やより深い知識を出し合い、活発な意見交換を行いました。

参加頂きました皆様の感想として、「他社の方と交流が出来て良かった」「知らない知識、経験を聴くことが出来て有意義だった」「はじめは緊張したが、徐々に慣れてきて発言も出来ました」など概ね満足いただけたのではないかと思います。

ただ、設問やご回答頂いた内容の共有方法、グループワークの運営方法の不備などもありましたので、来年以降ご意見を反映したグループワークを実施したいと思います。

主催者として、今回初めてグループワークを実施しましたが、当初の目的である交流を深めるという点では満足したものになったと思います。参加頂きました皆様には今後何かあったら相談できる人脈造りの第一歩にして頂ければと思います。来年度も開催致しますので、是非ご活用頂きたいと思います。

〈新任者教育講座プログラム〉

- 10:00~10:20 開会挨拶・オリエンテーション
- 10:20~11:40 ①環境計量の仕事とは
②労働安全衛生
③サンプリングの基礎
- 11:40~12:30 昼食
- 12:30~13:50 ④分析化学(化学分析)
⑤分析技術(機器分析)
- 13:50~14:00 休憩

14:00~16:20 グループワーク・質疑応答

16:20~16:40 修了書授与

16:50~ 交流会



2) 技術者基礎教育講座（濃度）実施報告

2019年11月26日、支部主催の技術者基礎教育講座（濃度）を香川県高松市のサンポートホール高松にて開催致しました。参加者は23名で30代、40代が約8割の参加状況でした。

今回の技術者基礎教育講座は有機分析をテーマとし、ジーエルサイエンス(株)様、(株)島津テクノロジー様及び(株)島津製作所様に講義をお願い致しました。

ジーエルサイエンス様には、液体クロマトグラフィー（LC）で主に使用する ODS カラムの選択、メソッドの組み立て方についてご講義頂きました。固相の粒子径によるカラム保持容量、分離の違いを生かした高速分析のメソッド作成、液相の違いによる難分離成分の分離条件の詳解など、LC を使いこなすためのテクニックについて勉強致しました。また、固相抽出のデモンストレーションでは、普段マニュアル通りに操作するだけで実際に何が起こっているか分かりづらい固相抽出の原理を視覚的に分かりやすく体験することが出来ました。

島津テクノロジー様には、「橋梁等の鋼構造物における有害物質の調査について」という題目で、最近調査方法の改定がありました PCB 分析について実際の経験から得られた最新の知見についてご講義頂きました。

参加者からの難分解性試料の前処理におけるテクニックや今後の法改正に伴う分析方法の変更点などの質問にご回答頂き、深い知見を得ることが出来ました。

最後に、島津製作所様よりヘリウムガス供給問題に対するアプローチと最新アプリケーションについてご講義頂きました。

このヘリウム供給問題は、供給するガスの純度により供給状況が異なることやロシアの増産などの情報もあり、不確実な状況が続いています。日環協としてもこの問題に取り組むべく WG の立ち上げを検討しています。実際に島津製作所様より水素又は窒素を使用した分析例の紹介及びキャリアーの使用量削減のためのアプリケーションについてご説明頂きました。

〈技術者基礎教育講座（濃度）プログラム〉

10:00~10:10 開会挨拶・オリエンテーション

10:10~12:10

① ODS カラムの選択、メソッドの組み立て方について

② デモンストレーション：クリーンアップ固相の使い方

ジーエルサイエンス株式会社

12:10~13:00 昼食

13:00~14:30

③ 橋梁などの鋼構造物における有害物質の調査について～PCB 等における分析上の注意点～

株式会社島津テクノロジー

14:30~15:00

④ 最新 GC・GC-MS による He 供給問題に対するアプローチと最新アプリケーション

株式会社島津製作所

15:00~15:20 休憩

15:20~16:20 質疑応答

16:20~16:40 修了書授与

17:00~ 懇親会





11月13(金)JASIS 日環協セミナー (幕張メッセ)
 一般社団法人 日本環境測定分析協会 中国・四国支部
 2021年1月8日(金) 新春交歓会 (東海大学校友会館)

2) 2020 年度環境測定分析士等試験日程
 一般社団法人 日本環境測定分析協会 中国・四国支部 -3-

2020 年度の環境測定分析士の試験は以下のとおりとなります。この資格は入札要件にもなる資格のため奮ってチャレンジして頂きたいと思えます。

【環境測定分析士 3 級及び環境騒音・振動測定士初級試験】

・募集期間 4 月 1 日～5 月 18 日

・試験日 6 月 21 日 (日)

・合格発表 7 月中旬

【環境測定分析士 2 級試験】

・募集期間 7 月 13 日～8 月 31 日

・筆記試験・試料配布 10 月 18 日 (日)

・電話ヒアリング試験 2021 年 1 月 24 日 (日)

・合格発表 3 月上旬

その他、分析実務研修会、アスベスト偏光顕微鏡実技研修、環境計量士受験直前講習会など様々な講習会・研修会がありますので、日環協ホームページもしくはメルマガにて確認頂きたいと思えます。

3) 岡山県計量協会 環境計量講習会【報告】

2019 年 11 月 11 日、岡山県岡山市の岡山コンベンションセンターにて、岡山県計量協会と共催で環境計量講習会を開催致しました。参加者は 38 名でした。

講演は、中央開発(株)の西村様の「土壌汚染対策法改正の概要と対応のポイント」では、2019 年 4 月に施行された改正のポイントについての講演を頂き、(一社) 泥土リサイクル協会の野口様の「泥土を適正に処理するための基礎講座」では、建設工事から発生する泥土の基礎情報と適性処理についての講演を頂きました。

4) 広島県環境計量証明事業協会 秋の講演会【報告】

2019 年 11 月 15 日、広島県広島市の合人社ウェンディひと・まちプラザにて広島県環境計量証明事業協会と共催で秋の講演会を開催致しました。参加者は 38 名でした。

講演は相原酒造(株)の相原様より「吟醸発祥県広島とその流れを汲む「雨後の月」」の講演を頂きました。吟醸酒に掛ける相原様の思いと酒造りの歴史、また、製品管理のための分析について興味の尽きないお話でした。

本部情報

1) 2020 年度行事予定

2020 年度の行事予定をご案内致します。2020 年度の環境セミナーは中国・四国支部の担当で、広島市で開催致します。

- ・5 月 20 日(木) 通常社員総会 (タワーホール船堀)
- ・7 月 3 日 (金) 経営セミナー (札幌)
- ・10 月 8 (木)、9 (金) 環境セミナー (広島)

3) 環境セミナー全国大会 in 熊本【報告】

2019 年 10 月 17、18 日の 2 日間で熊本県熊本市のメルパーク熊本にて環境セミナー全国大会が開催されました。熊本と言えば 4 年前に発生した熊本地震の復興も道半ばではありますが、熊本城の天守閣も修復され確実に復興されている現状を実感できました。熊本を訪れるということで少しでも復興にお役に立てたと感じています。

この熊本大会の参加者は過去最多であった大阪大会 (2016 年) を超える 339 名となり、会場がほぼ埋まってしまう熱気に包まれたセミナーでした。

1 日目は 3 題の特別講演があり、環境省水・大気環境局の上尾課長より「大気環境行政の動向」のご講演を頂き、当協会の松村会長より「日環協の最近の取り組みの報告、2018 年中国計量証明ビジネスの集計と予測」のご講演を頂き、最後に国立水俣病総合研究センターの坂本先生より「水俣病の疫学と水銀の環境保健研究」のご講演を頂きました。特に水俣病のお話は、長年研究された知見から水銀の挙動に

ついて詳細に示され大変勉強になりました。

2日目は3会場に分かれ27題の事例発表が行われました。日環協としても2題の活動報告を行い、日頃の活動について皆様に紹介させて頂きました。

4) 経営セミナー in 東京ベイエリア by 竹芝【報告】

2019年11月7日、8日の2日間で東京都竹芝のアジュール竹芝にて経営セミナーが開催されました。

今期より経営セミナーと名称を変更し、“者”を抜くことにより経営陣ばかりではなく管理者などの幅広く経営に携わる方を対象とさせて頂きました。

参加者は87法人131名でした。参加者内約は6割が代表及び役員、約4割が管理職、課長・マネージャーでした。当初の目的でした経営に係る幅広い方に参加して頂き当初の目的は果たせました。

また、今回より賛助会員のカタログ展示も実施し、参加して頂いた代表や役員に製品のPRを行うことが出来ました。

特別講演として2日間に7題のテーマについてご講演頂きました。1日目は(株)フォワードの伊佐様より「企業ブランディングを軸とした経営メソッド」、(株)雙葉コンサルティングの湊様より「自社にあっ

た事業継承策のを見つけ方」、東京工科大学の戸井様より「東京工科大学におけるコーオプ教育プログラムの実施」、最後に河野副会長より「平成30年度 環境計量証明事業者実態調査の概要」のご講演を頂きました。

2日目は(一財)日本地図センターの田中様より「ドローンを使った環境フィールド分析」、(株)環境管理センターの濱島様より「海外進出の事例について」、(株)オンリーワンの古川様より「リーダーのための発想術」のご講演を頂きました。

企業ブランディング戦略から海外事業展開事例、リーダーのための発想術まで経営に関する幅広い知見を得ることが出来ました。

支部予定

2020年度の支部予定は以下のとおりです。

- ・5月15日 支部会員連絡会
(岡山市 ピュアリティーまきび)
- ・10月8日、9日
日環協環境セミナー 全国大会 in 広島
(広島市 ホテルグランヴィア広島)

編集後記

先日、東京ビックサイトで開催された2019国際ロボット展に行ってきました。小職は今回で3回目の参加となりますが、会を重ねるごとに規模が大きくなっている印象です。前回(2017年)驚いたことは中学生(だと思われる)が学校行事で見学に来ていた点です。今年は初日に参加したため学生の姿は見ませんでした。アジア圏(中国、香港)の企業ブースが目立ち、今はやりの協働ロボットの展示が多かったことです。

特にオムロンのブースでは実際に使用しているロボットシステムを持ち込み、人間でなくてもよい部品搬送、箱詰めなどの作業は完全ロボット化していました。すごいと同時に怖いという感覚を覚えました。

この環境測定分析の業界にもドローンを始め協働ロボット化の波はいずれ来ると思います。その時までにとして何が出来るか日本酒を嗜みながら思いをはせてみようと思います。(T・K)



発行者

一般社団法人日本環境測定分析協会中国・四国支部

〒721-0957 広島県福山市箕島町南丘 399-46

(株)日本総合科学 内

TEL 084-981-0181(代) FAX 084-981-0171

支部長 小林 琢也

事務局 岡本 崇